



清 央 小 だ よ り

令和5年度 第27号
2024.3.22 文責 室田和宏

教 育 目 標 「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」
・自ら学び工夫する子ども (考える)
・元気でがんばる子ども (鍛える)
・礼儀正しく思いやりのある子ども (思いやる)

卒業・修了おめでとう “夢いっぱい友だちいっぱい清央小”

卒業式でこんな話をしました・・・

今年は、コロナリカバリーの年。私はみなさんの笑顔思い浮かべながら、今年の作戦を決めました。“「ポテトチップス大作戦」笑い20%増量！”です。真っ先に手ごたえを感じさせてくれたのは、やはり6年生の元気な手のひらあいさつでした。朝、昇降口の前に立っていると、率先して笑顔で大きな声を掛けてくれました。皆さんの挨拶が、周囲を巻き込み、元気に挨拶できる下級生が少しずつ増えて笑顔が広がっていきました。支えてくれてありがとう。そんな気持ちでいっぱいです。

実は、こんな変な目標を言い出した私自身、この1年間「笑い20%増量って本当はどうすることなんだろう。」こう考えることがよくありました。そして今、一番思うのは、「ひとのいやがることをしない」ということです。

(途中略)・・・その紅白歌合戦には 毎年テーマがあるのですが、この前は「ボーダーレス」そしておとしは「カラフル」でした。どちらも「多様性を受け入れる」ということが共通していることです。少し簡単に言うと、自分と違うことも認め合うということですよ。

「ひとのいやがることをしない」このことを実行するためには 相手のことをよくわかって認め合うところからはじまります。もしかすると、「静かにしていれば大丈夫・・・」のようなイメージを持つかもしれませんが、それはちがいます。相手のことをよく知るために、自分自身が心を開き、自分から動き出す必要があるからです。

「相手はどんな気持ちになっているかな」とたくさん考え、自分のしていることをじっくりと見つめ直し、「あれっおかしいかも」と気づくことを繰り返しながら、自分の行動をどんどんアップデートしていかなければなりません。「いやがること」というのは、その人によって、場所によって、時代によって、みなちがっているはずだからです・・・

(途中略)・・・「笑い20%増量」の意味や見え方は あなたたちの成長と共に変わっていくものです。この先輩たちが卒業した後も、ともに、それぞれが「笑い20%増量」を思い出してくれたらうれしいです。きっとその時々で、ちがった景色が見えることと思います。

令和5年度もゴール間近です。笑い20%増量を達成しようと、1年生から6年生のそれぞれが大きく成長してくれました。これもひとえに、保護者の皆様や地域の皆様のご協力のおかげです。1年間のご支援のおかげです。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。子どもたちには、春休みを安全に過ごし、新学期へのエネルギーを十分に養って、胸いっぱいの期待と共に、進級の4月を迎えてほしいと願っています。

「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小！」は、来年度も“20%増量した最高の笑顔”で、皆さんをお迎えします



地域の皆様からの祝福のパネル



5年生が頑張る卒業式準備



図書室からも“祝卒業”